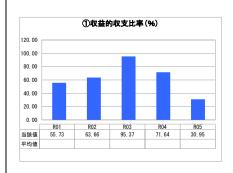
経営比較分析表(令和5年度決算)

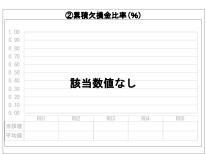
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
	該当数値なし	0. 65	100.00	2, 879

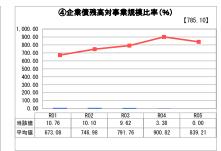
人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
352, 717	109. 13	3, 232. 08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)

1. 経営の健全性・効率性



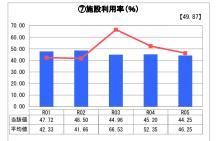






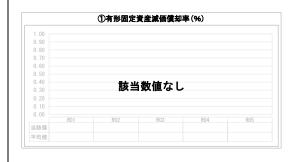




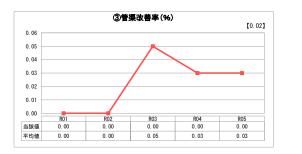




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

一 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率

前回と比較して大幅に減少した。これは汚染水流 入事故の影響で増加した歳入と歳出の差額である繰 越金が増加したことに伴い、一般会計からの繰入 が減少したことによるもので、一時的な数値の低下 となっている。

4企業債残高対事業規模比率

類似団体と比較すると、低い数値で推移している。今後は改修に伴う企業債発行による残高の増加が見込まれるが、低い数値で推移するよう努める。 (5)終費回収率

公営企業会計適用に伴う業務委託等による支出が 減少したことにより経費回収率が増加した。地方公 営企業法適用後は、使用料収入の確保と維持管理費 の適正化により、経費回収率の向上を目指す。 (6)汚水処理原価

デ発水流入事故に伴う費用が無くなったことに加 え維持管理費の中で業務委託費が減少したことから 汚水処理原価が低下した。今後も維持管理費の適正 化に努め汚水処理原価の低下を目指す。

⑦施設利用率 他団体と比較すると、同程度の数値となったもの の依然低い数値となっている。今後も施設の適切な 維持管理に努める。

⑧水洗化率

他団体と比較すると、同程度の数値で推移している。今後も更なる接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

市内2箇所にある農業集落排水処理施設(鴨田地区、石田本郷地区)の供用開始は、平成18年及び 平成24年と近年であるため、老朽化には該当せず、管渠の更新は行っていない。

全体数

現状の経営状況を踏まえ、健全な事業経営を継続 します。使用料については、公営企業会計適用後、 将来にわたり持続可能なストックマネジメントの推 進や適切な原価計算に基づく料金水準を検討しま す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。